

寿楽苑だより

124号



社会福祉法人 舟見寿楽苑

発行責任者/施設長 高村 敏 明

〒938-0103 富山県下新川郡入善町舟見1664

TEL 0765-78-1935 / FAX 0765-78-1941

e-mail : jurak273@funamijurakuen.jp

http://www.funamijurakuen.jp

舟見寿楽苑

検索

発行/令和 5年 7月 20日

理事長就任のご挨拶



野島 浩
理事長

この度、高村前理事長の退任に伴い、6月23日開催の理事会にて、社会福祉法人舟見寿楽苑理事長に就任いたしました野島浩です。

日頃より、当法人の運営に際しましては、利用者様・入居者様をはじめ、ご家族様、地域の皆様方から温かいご支援、ご理解を賜り心から感謝申し上げます。

事業開始から45年目を迎え、県下でも歴史ある当施設の理事長という重責を担う事となり、改めて職責の重さに身の引き締まる思いであります。

当施設を取り巻く環境は、決して楽観できるものではありません。

施設整備の経年対策や人材の確保・育成など多くの課題を抱えておりますが、皆様方のお力添えを頂きながら取り組んでまいりたいと考えております。

今後とも、利用者様・入居者様・ご家族様に満足いただけるきめ細やかなサービスの提供に努めるとともに、地域に愛され信頼される施設となるよう職員一丸となって取り組んでまいりますので、今までと変わらぬご指導ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

植えた野菜の収穫とマリーゴールド

6月中旬に苗植えをした野菜が、収穫の時期を迎えました。

6月28日、天気の良い日に、ベランダでキュウリやピーマン、シソとラディッシュを入居者様と一緒に収穫です。

「あい、なんて立派なキュウリ。重たいや」
「サラダもおいしいけど、やっぱり漬物が一番」
「こんな野菜、よっぱら畑で作ったもん」
「キュウリなり始めたら、毎日続くさかいね」
「でも、旬の野菜って、体にいいがいぜ」
などと、入居者様の話は尽きません。



野菜と一緒に苗を植えたマリーゴールドの花も咲いて、ちょうど見頃に。

「マリーゴールド、なんてきれいながいろ」

「ベランダが、お花畑になつとるようやもん」

「野菜の近くに、花あるがって、いいね」

見ている入居者様の顔が、自然に笑顔へと変わっていきます。

真夏に向け、アサガオとゴーヤのグリーンカーテンもお目見えし、日差しを遮ってくれる予定。

野菜の収穫、花やグリーンカーテン。入居者様と一緒に、またベランダへ出る楽しみが増えました。

ひばり野苑



花の植え替え

6月4日、天気も良く花の植え替えとしては、絶好の日になりました。

入居様は、目の前にある花を見て「きれいやね」「昔、私も家の庭で、植えたりしとったわ」などと、おしゃべりを楽しみながらの、植え替え作業です。

植え替えが終わると、プランターの花を見て。

「これから、また水やりもしてかんなんね。」

「手かけた分だけ、いいがになってくるから続けんと」

「そうそう。人間と一緒にやせ」



誕生会とフルーチェ作り



6月18日、2名の入居様様の誕生会とフルーチェ作りを行いました。

まず、フルーチェ作りから開始。入居様様にも手伝っていただき、和気あいあいとした雰囲気の中、任された方は、真剣な表情で作業に集中です。

フルーチェが出来上がると誕生会に移り、誕生月を迎えた方を、集まった入居様様全員でお祝い。

「このフルーチェつもん、おいしいね」

「こいがなら、どんだけでも食べられるわ」

デイサービス



天の川迷路ゲーム

7月3日から行ったのは、天の川迷路ゲームです。持った箱を左右に揺らして、ビー玉をゴールまで転がすという、昔懐かしいゲームです。

迷路の途中には坂が設けてあり、持った箱を思い切り傾げないと、ビー玉が通りません。

ところが、傾け方が大きすぎたため、ビー玉が箱から飛び出し、どこかへ転がってしまった利用者様。

「あのビー玉、えらい元気あるぜ」

「あんたの若い時分に、そっくりやねけ」



星をすくおうゲーム



7月8日、星をすくおうゲームを行いました。

七夕の曲に合わせて、利用者様の目の前を、小さな船が通っていきます。その船の中へ、牛乳パックで作ったへらを使い、ペットボトルの蓋を入れていくというゲーム。

利用者様は、七夕の曲が始まる前から真剣な表情で、やる気満々。船が前に来ると、「待て、待て。こらっ、動くが早いぞ」などと大きな声を出しながら、ゲームを楽しんでいました。



野菜の苗植え

5月末、入居者様のご協力を得て、3ユニットの庭に、ナスビ、キュウリ、ミニトマトの苗を植えました。

入居者様から、「もうちょっと、土入れんなんわ」「肥やしは、それぐらいでちょうどいいよ」などと、的確な指示が出ます。

苗植えが終わると、「ナスビを収穫したら、焼いて食べたいね」「採るが、今から楽しみや」などと、笑顔での話が尽きません。

これから収穫まで、待ち遠しい日が続きます。



七夕短冊作り



6月に入ってから余暇の時間に、入居者様と職員で七夕装飾作りを行いました。

みんなで協力しながら、テープやシールを貼ったり、短冊にひもを通すなどの作業です。

短冊の願いごとを見ていると、その中の1枚に「職員のみなさん、いつもありがとう」と書かれており、思わず手に取って、他の職員へ「ほらっ」。

その後、笹への飾りつけに移り、おしゃべりを楽しみながら、飾りつけ作業を進めていました。

行 事 等



一日早い愛本姫社まつり

6月19日、喜楽苑のひまわり広場で、一日早い愛本姫社まつりを開催しました。

紫色の傘で顔を隠したお光が、しずしずと登場。そこへ、若武者が大蛇を引き連れてやって来たでは。

新郎と新婦が揃ったところで「東西東西」と口上が始まり、結婚式がスタート。参加した入居者様にはノンアルコールビールが振る舞われ、一緒に大きな声で「かんぱーい」。その後、職員による歌も披露され、大盛り上がるの愛本姫社まつりになりました。



消火訓練



7月4日、舟見寿楽苑と喜楽苑で、消火訓練を行いました。

消火器の黄色い安全ピンを抜くところから、噴射までの流れについて説明を受けた職員が、一人ずつ実際に消火器を手に取って操作。

以前は、ホウキで掃くように噴射するとのことでしたが、今は上の方からかぶせるように噴射するのが、正しいことを学びました。そして、噴射するのは、風下からではなく、風上の方からだとも。

まごころ善意

令和 5年 5月18日～令和 5年 7月17日
(順不同・敬称略)

寄付金

- ・滝本 美樹 ・能沢 要一 ・小森 弘義
- ・松倉 純一郎



寄付物品

- ・南地 まり子 ・松嶋 孝司 ・清水 由美 ・水島 幸夫 ・滝本 美樹 ・梨木 潤 ・野村 哲治
- ・小森 弘義 ・須沢 博雅 ・鍋島 均 ・川原 コリ子 ・藤田 奈織 ・小林 秀一 ・澤田 誠
- ・匿名

ボランティア

- ・入善町婦人ボランティア連絡協議会



ご家族様・関係する皆様へ

食中毒の発生しやすい暑い時期を迎え、ノロウイルス等の感染症を防ぐため、面会時入居者様への食べ物等の持ち込みは、禁止の物があります。もし、面会で持参される予定がありましたら、事前にお問い合わせくださいようお願い致します。

施設に飾られた七夕飾り



温泉で学ぶ正しい介護方法研修会



6月29日、ふれあい温泉で、第1回「温泉で学ぶ正しい介護方法研修会」を開催しました。

在宅で介護を行っている方々などの負担軽減と併せて、介護に関する知識を得ていただくことなどを目的に、一般の人たちを対象に行ったものです。

高村施設長による開会の挨拶に続き、正しい介護方法、介護用品、介護保険・福祉サービス等について、参加者は、講師を務める舟見寿楽苑職員の説明に熱心に耳を傾けていました。

講義の後、質問の時間も設けてあり、参加者から疑問や質問などが寄せられ、職員が回答。また、参加した方々は展示してある介護用品の見本などを手に取りながら、興味深そうに眺めていました。

この研修会は、赤い羽根共同募金の助成で開催したものです。

編集後記

夕日が落ちる前、散歩へ出かけた時のことです。「この時間になっても、まだ明るいね」と言うと、「明るいから、気分も違うわ」と連れ。そして、「暗くなっても、玄関が暗いままの家ってない。電気代のせいだけではないと思うけど、玄関が明るないとお客さんは入って来にくいし、真っ暗やったら帰りたいなもん」。

道路沿いの田んぼ、育った稲を眺めながら「家のタマネギ、あんな大きいのが採れたが初めてやったがじゃない」。「今年は豊作。タマネギは、小さいカボチャぐらいながもあったよ」と、連れです。「採ったがは全部干したけど、タマネギを使うとニンニクと一緒に、料理の味が引き立つし、体にもいいから」。

人が訪ねて来ない家は幸せも入りづらいのだとか。その真偽はともかく、明るい玄関だと誰も入りやすいのは事実。家の玄関、暗くなる前に電気を点け、タマネギ料理のいい香りで備えておこうか、千客万来に。